

東富士演習場の鳥たち

文 三宅 隆 写真 三宅 飛鳥



ノビタキ♀



ノビタキ♂



ホオアカ



ノビタキとコヨシキ

7月下旬、静岡県自然保護課を通して立ち入り許可をもらい、野鳥の会の仲間など5人で、陸上自衛隊東富士演習場に入り、野鳥などの調査をしてきました。

私は、今回初めて入ったのですが、目の前には見渡す限りの草原が広がり、驚くような光景でした。次から次ぎに、草原性の留鳥のヒバリや夏鳥のノビタキ、ホオアカ、コヨシキなどが見られました。

現在、朝霧高原では、草原の縮小や森林化、開発に伴いこれらの夏鳥は減少の一途をたどっています。今年、ノビタキは数番が確認されているにすぎません。ここでは、それら減少している鳥類が嫌というほど見られるのに感動すら覚えました。

自衛隊の演習場という事で、このことに対する是非はともかく、演習のための広大な立ち入り禁止区域があったからこそ、開発されず残ったという事実は非常に大切と思われます。そして、ここが県内では非常に重要な草原性の鳥類の繁殖地となっているのです。

時期的に、繁殖期には少し遅かったせいか、目的だったアカモズやオオジシギには出会えませんでした。可能なら来年は5月下旬から6月上旬に調査できたらと考えています。